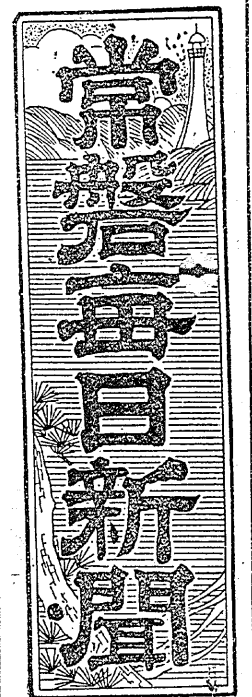


刊夕 日六十月十



定価 一部金五銭、二部金五銭、郵税五銭
 廣告料 五銭以上、一行金五銭、二行金十銭、三行金十五銭、四行金二十銭、五行金二十五銭、六行金三十銭、七行金三十五銭、八行金四十銭、九行金四十五銭、十行金五十銭、十一行金五十五銭、十二行金六十銭、十三行金六十五銭、十四行金七十銭、十五行金七十五銭、十六行金八十銭、十七行金八十五銭、十八行金九十銭、十九行金九十五銭、二十行金一百銭

人形劇への提言

和田 精

最近児童の問題が總ゆる角度から取り上げられ重要な研究命題となつてゐる今日——児童藝術の分野も著しい發展を躍進し續けてゐるが、近時全国的に研究されて來てゐる人形劇（特にマリオネット）に就いて好個の論文を抜粋して些々かの資料とならんことを期待して掲載する。

人形劇といつても、こゝでは最近新人達の試みられるマリオネット劇文について、勿論既成の人形芝居についてではない。

人形劇の主體である人形は、大抵の場合、寫真には造られて居ない。顔や手足は大きく造られ、表情が極

ノート
 金鶏勲賞 制定以來 功一級を 賜つたものは陸軍十六人 海軍六人で合せて二十二 人である。

端にエキザジャレトとされて居る。役によつては、その性格をエンフアサイズする爲に特にグロテスクに作られる場合がある。要する

に人形はシンボリックに作られるのが一般で、又さうあるべきである。

そこで、人形の使ひ方が、人形の動作と云ふものは、數本の糸で操られる以上、リアルに動き得ないのは當然のことで、無論又その必要なく、人形に相當な動作を與へるべきだが、いくらグロテスクに造られた人形だからと云つて、前進するのに一週に空中を飛躍したり、座はるのに、一週に地面に尻を落したりしたのでは、人間を象徴する人形である限り無謀である。

やはり人間を表示するならば、前進には足を交互に運び、座はるには先づ膝を折るべきである。

泣くための動作と、笑ふための動作、怒つた時の動作と、喜こんだ時の動作、この全く反對であるべき感情の表現に、何等區別のない動作を與へ、快活が粗暴になり、冷静が陰鬱になるやうな動作を與へるなら、こんなことは決してない云へない——人形使ひは失敗である。

そこで自分は、人形使ひに「先づ人間の感情を表示するあらゆる動作の實際を精細に觀察せよ。そしてそれを正しく分析してそのエッセンスを見出せ。その上

で人形の性格に應じて種々な型を作れ」と進言する。人形の容姿が、如何にリアルズムを離れて居るからと云つて、動作は決してリアルズムを始めから排撃すべきではない。リアルズムを充分會得し、それを誤りなくシンプリファイして、適確な動きを與ふべきである。

かの文樂の人形が、いつ

も舊いレバトリを繰り返す返へしなから、しかもいつまでも感傷性を失はないのは、要するに熟練した人形使ひの妙技によるものであることは勿論だが、榮三や文五郎の使ひ方を見ると、今更ながら、その無表情の人形を驅使してすばらしい眞實幻覺を醸し出す技巧の妙味に驚かざるを得ない。

彼等の手法はリアルズムでないとは云へない、然しながら彼等のリアルズムはリアルズム以上のリアルズムである。即ち、リアルズムを通過して、實生活上に行はれるいろ／＼の無駄を省

きそのエッセンスをコンデンスしてそれを組み合はせたものである。だから、その動きに不自然はない。不合理はない。しかも直截で適確である。

木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番

産名城磐

味美 鯉しほから
 當店特製 鯉節賣出し



干ヤナギ

賣り始めました

鯉節 鯉鹽辛

平土橋

丸仙鮮魚店

電六六二番

看護婦急派 求めに應じます

平町南町

平看護婦會 電話三七〇

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
 平町田町 電話五一三番
 内科小兒科 耳鼻咽喉科 外科花柳病科 レントゲン科

耳鼻咽喉科専門

平町町（電話六九一番）

病室完備 自炊便有 山内醫院

醫學士 山内 亨 吉

電話至急買度し

平町仲町

銅鐵商 山田文一商店

各位 日東商會 平町二丁目

弊店ネオンサイン外交員と稱し外交致し居る者有之候由に御座候へ共、右は弊店との關係一切無之候間御承知被下度致御願申上候

冷害慰安と

納税思想普及

縣稅務出張所の巡回映畫

平縣稅務出張所は管内各町村の冷害慰安と納税思想普及を計る爲め左記町村小學校で無料映畫會を催し最近本縣で購入した『渚の花』『何處へ行く』『眞生の心』等を上映する

十月廿日夏井 廿一日飯野 廿二日鹿島 廿三日玉川 廿四、五日江名

廿六日小名濱 廿七日泉 廿八日渡邊 廿九日植田 卅日山田 卅一日錦 十一月一日勿來 二日入遠 三日湯本 四日磐崎 五日草野 六日大浦 七日大野 九日好間 十日永戸 十二日小川 十三日川前

繭の高値に

釣られて無暴な

桑園増殖を圖る

目先の利を追ふ農家

既報晩秋蠶の高値から郡下の農村は蠶業取締所その他で目下極力獎勵中の桑園の改植整理を無視して蔬菜畑などを片っ端から桑畑に變へて居る向多く殊に大野、小川村等に斯うした傾向が増加して居るが桑畑は三年経ねば摘葉出來ないから現在値が高いからと云つて目先に釣られての増殖は頗る危ぶまれて居る

氣を揉ませる

繭市況

待望の七十圓臺を出現して十四日地方蠶業家を狂喜させた四倉市場は十五日、至つて俄然下落最高六圓六十

たが今年は必勝を斯し猛練習に精進してゐる

警中平商生

聯合演習へ

十八日出發

縣下中等學校聯合野外演習に参加する警中、平商生は各配屬教官引率の下に十八

蜂屋柿不作で

今年は値が高い

石城蜂屋柿は秋の味覺の殿りとしてそろそろ出廻り初めるが本年は冷害を受け九月中に落果が多く近年になり不作なので例年の五分作と見られるので本年は樽スキなどは一個五、六錢から上物で七、八錢位の高値を豫想されると

林産共進入賞

川前村矢内正美氏は昨十五日福島市公會堂に開催された一導九縣林産共進會に黒炭檜丸を出品二等に入選した向木炭以外本郡品種授賞者左の通り

▲苗木擬賞調(四等黒松) 神谷村志賀彌次郎外九名
▼木竹材(三等若竹) 永戸村阿部豊

秋刀魚水揚

江名の漁船

江名町字仲之作秋刀魚漁船開運丸は十五日未明さんま一萬尾を同港に水揚再び金華山沖に出帆したが相場は一尾一錢四で本縣最初の縣内水揚である

日午前八時卅分平發列車出發するが参加人員は警中百九十五名、平商六十三名である

夏井青年視察

夏井村青年團員五十名は来る十七日平窪村で同村信用組合及び果樹組合の事業視察を行ふ

平署管内の来る廿八、九日の交通安全デーは第一日目の廿八日に交通安全防止宣傳及び交通指導を行ひ各種力し訓辭、講演、映畫に依る宣傳或は少年團、小學校兒童の應援を得て交通指導に當ることになり又第二日目の交通一齊取締は管内極要地に警察官を配し嚴重な取締りをなす事になつた

恒例の平署

交通安全デー

平署管内の来る廿八、九日の交通安全デーは第一日目の廿八日に交通安全防止宣傳及び交通指導を行ひ各種力し訓辭、講演、映畫に依る宣傳或は少年團、小學校兒童の應援を得て交通指導に當ることになり又第二日目の交通一齊取締は管内極要地に警察官を配し嚴重な取締りをなす事になつた

法曹團の

弓道大會

平法曹團の弓道同好者は明十七日午前十時より舊城跡聚樂園弓場で弓道大會を催すと

躍進小名濱

人口激増

國調の結果

今次國勢調査の結果小名濱町は一萬三千二百人で廻船航行中の不在中約五百名を加ふれば一萬四千を突破す

四百米繼走が

明日の呼び物

警女運動會開かる

々庭に華がしく舉行されるが呼バ物の小學校兒童四百系繼走出場校は

平第三本 湯本入山校 植田校 好間校 平第二校 四倉校

の六校でいづれも優勝の自信強く二年連勝の平第二校との間に白熱戦を豫想されている因に同日の當競技係員左の諸教諭である

△出發合圖係永島△決勝審判係穴井 大内 蝦名 松浦 田中△監察係日野 鈴木 志村 西川△計時係土岐△記録通告係酒井△召集係山口

古河野球 リーグ戦 古河礦業 東京本社及び好間礦業所、原町紡績の野球リーグ戦は来る廿日午前八時から好間村小館グラウンドに於いて舉行、古河男爵寄贈の優勝旗争奪戦が開かれる

大野村長後任

大野村長吉田盛治氏は本月卅日任期満了となるので是れが後任として木村醫師、中野村議等が後任者として有望視されてゐる

新選炭機

古河炭礦で設置する大規模な設備を去る五月以來廿萬圓の巨費を以つて第一堅坑傍らに建設中の好間村古河炭礦の選炭機設置工事は目下機械据付中で來春三月までに竣工する筈であるがこれは一日千五百トンを塊中塊粉炭に選別更に粉炭は水洗して微塵粉を流す方法でこれに就業する者は主に女子百五十名位で前記の性能を發揮し得る譯である

平町入事

△中町二 前田力氏三女佳子
△出 生
△結婚 姻
△番匠町當時安積郡富久正村 藤城鶴治氏(二) 富久正村字久保田 角田ハ

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雜誌が自由に讀める川崎文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

木村科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番

店主が店員

を連れて行かれる 正シイ食堂 正シイ喫茶 正シイ酒場

レストサロン

平・田町 電三五二番

部落民對立

更らに激化

捜査が手薄に

なつたのを機會に

下三坂村白石區長慘殺事件は既記の如く有力な被疑者を全部平署に留置し捜査本部には柴警部補以下草野、大谷兩刑事を殘して昨十五日正午本署に引揚げ本十六日より被疑者達の本格的取調を開始したが捜査本部の引擧を薄々聞き込んだ部落民は其筋の手がゆるんだものと思つて更らに部落民の對立が激化し各所で喧嘩口論等を始め出したので平署長澤警部補以下の特高係は昨十五日同村に急行警戒に當つた

薫る秋

菊花品評會

平町菊花品評會は來月一日から七日まで平署會議室で開かれるが入山炭礦の同會も三日から自治會館に催される

湯本町の火事

湯本町字傾城六日雇業武田健藏(四)方より昨十五日午前十一時頃發火し同家一棟を焼いて十二時頃鎮火したが電の殘火からと見られ損害三十圓位であると

愛慾二筋道の争ひ

近代夫婦氣質

結婚解消が生むだ違約賠償金

湯本町大字吹谷品川白煉瓦會社湯本工場職○鈴木興作(三)妻さん(三)は十日程前家出したがさんは前にも家出したことありその際夫婦で契約書を交換したがそれが違反した場合は違反者が五百圓を賠償することになつて居り「五百圓賠償の義務何れにある」と双方共頑張つてゐるが夫側

童話と劇の會

大學傳道部照心會の主催するお伽噺と劇の會は昨夜七時から長橋町性源寺に開かれたが百餘名の子供達が集まつて盛會を極めた

水道斷水

平町水道部は長橋町の配水鐵管布設替工事中なので本十六日午後九時半から明朝三時迄長橋、仲町、十五丁目の各町を斷水される

獵裝物々々

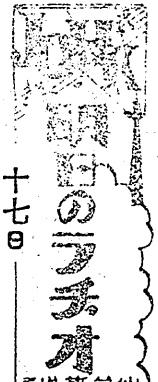
平署に出願殺到

昨十五日の狩獵解禁日が來て平署には腕自慢の獵天狗連が押寄せ甲種二名、乙種四十八名の免許取りが獵裝物々しく山野に出場し初めたので鳥獸もうつかりして居られなくなつたが許可願者は昨年より十人近く減少して居るこれは捕獲物最盛期に入らない爲めで今後日を追つて續々届出あるものと見られる

狩獵不振

天狗連失望

獵解禁の昨十五日は未明から鮫川下流の地帯、夏井川仁井田川下流に水鳥をねらう獵人が多數姿を見せたが何れも不獲で僅かに小名濱方面の鴨獵がやゝ成績を上げてゐるこれは從來石城地方は雉山鳥が比較的繁殖良好であるが水鳥は從來共期



今夜は北西の風 明日は北東の風 晴曇半す

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
お話「藤原釜足公と談山神祖」高橋城司、集英社
下モ會兒童
後六、二五 基礎英語講座
岡倉由三郎
後七、三〇 講演「我國對外無電の躍進」藤誠一
後八、〇〇 お笑ひ道中
「長野の巻」柳家金語樓
(長野)

明日の部
前七、四一 秋に啼く小鳥
前九、三〇 子供の時間

「秋の取入岩槻信治」前一、〇〇〇 記念講演
「神嘗祭の意義と其御儀式に就て」佐伯有義
前一、〇〇 趣味講座
「菊花の美」石川純策
前一、〇〇 講演「村民一致して經濟更生に邁進」富山縣麻生正藏「我町は斯くして難關を打開」香川縣宮崎團之祐
前二、一〇 講演「最近に於ける、濠洲の親日傾向」佐藤劍之助
後〇、五〇 八雲翠青戸糸琴眞砂琴
後一、一〇 雅樂 宮内省樂部

後一、三〇 獨唄 四家文子
後一、五〇 六大學野球慶法戰神宮球場中繼
後六、〇〇 子供の時間
童話劇「星の世界めぐり」大阪童話研究會
後六、二五 御陵巡り「明治天皇御陵を中心とする伏見桃山地方の歴代御陵」勝田圭通
後七、三〇 狂言牛盜人野村萬齋社
後八、〇〇 ミュウジカルドラマ「愛の葬送曲」山田耕作指揮
後八、五〇 浪花節「寛政會」我木村重友

汽車の

荷馬車衝突

馬は其場で即死

昨十五日前午十一時二十五分頃平驛發着越東線下り一七號列車が赤井小川郷間の西小川字瀧ノ作地内村道踏切に差かゝつた際列車の前方を横切つた上小川村字中寺四二荷馬車輓白石濱吉(五)の荷馬車に衝突し車を滅茶々々に破壊、馬は列ね飛ばされて即死したが是が爲め列車は現場に三分停車した

美術の秋を飾る

四十餘點の力作

美術の秋を飾る美友會展覽會は、明十七日より四日間マルトモホールで開

平職業紹介所報告

回人を求める方
△雜役 卅迄 月十五圓
△旅館女中 三十迄尋卒
給料面談
△三助 五十迄月五十六圓
△豆腐賣子 四十迄尋卒
給料歩合
回職を求むる方
△配達人 廿五才高卒
△事務員 廿四才甲種商卒
△外交員 廿六才高卒
△自動車助手 十七才商一修
△店員 十九才 甲種商

見習男女工

右至急募集す
希望者來談あれ
常磐毎日印刷會社
長橋町 電話六三〇



明治太平記

(作) 寺島征史
(監) 寺島征史

第二百五十二回

自嘲 (十一)

「……政治を改革してはならぬ役人をみだりに免職してはならぬといふと、あとに何を以て二年間暮してをれといふのか、わかりきつたことぞや。その二つをのぞいたら、留守政府は木偶の集合さ」

「しかし、その間に、諸藩の志士は、新政府顛覆の實行運動にとりかかりませんかな」

「いや、諸藩の志士を糾合した明治勤王黨一味は捕へられ、このほど、それで處刑されたといふから、まづ反政府の徒黨は根こそぎだらう」

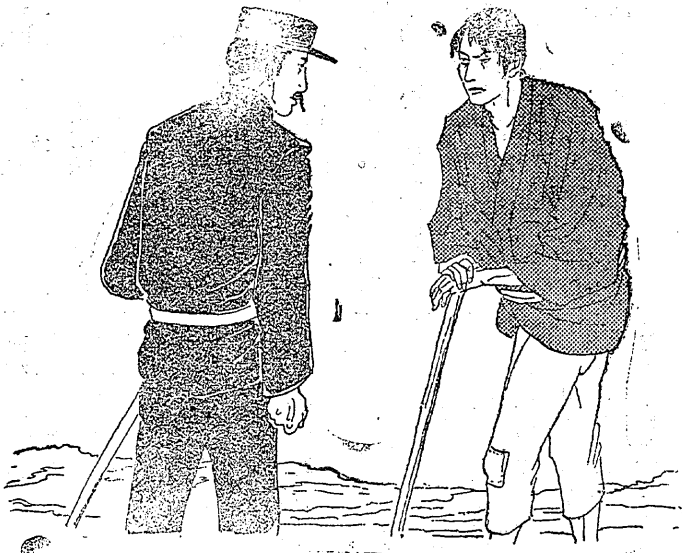
「さういつて、安心してをる足もとから、火があがるでせう」

「なに？」

「西郷さんの征韓が沙汰やみだとわかると、民間の有志が事を起すかも知れません。人民大衆の意志をまとめて、西郷さんに代つて朝鮮征伐をやらうといふものが現れんでもないでせう……」

「うむ」
「そのとき、西郷さんは、民間の朝鮮征伐を、その人民の總意を、おさへることが出来ませうか」
「なるほど……こやつ、面白いことをいふ奴ぢや」

大久保一行を、洋行させたのかもわかりません」
工事役人は、話につりこまれてゐたが、やつと自分の地位にかへり
「こやつ！何をぬかすか、そのやうな不慮なことを口外すると不爲だぞ」
「はッ！」
「さつさと仕事をせい」
「……」
仕事をせいといはれたがもう仕事どころではない。品川横濱間の鐵道工事をすゝめるうち人足どもを煽動して、新政府顛覆の一步手



「そのときこそ、西郷さんが、人民の情熱に、民族の意志に引づられて、劍を抜くかも知れませんぜ」
「征韓反對の岩倉、大久保のお歴々が留守ぢやからかう」
「あるひは、その肚で、西郷さんは、黙つて岩倉、

前の、蒸汽車顛覆を圖らうといふ考へも、これで、どこかへケン飛んでしまつたかたぢだ。
× × ×
芳丸の芳三郎は、ホテル館へも、自由に出入り出来る身分だつた。
横濱の高島嘉右衛門は東

京にまで鳴り響いてゐたのでその手代格に出世した芳三郎もいさゝか肩身がひろいわけだ。
今日も彼は、ホテル館へやつてきた。
鐵路材料枕木検査の件でホテル館に滞在中の、イギリス人技師エドモンドモレルに會ふために、特に夜分をえらんでやつて來たのである。
ところが生憎、モレルは鳥森の濱の家へ、大限によばれて行つて留守だつた。
芳三郎は、そのまゝ歸らうとしたが、ふと、二階のパークスの室にをる、おとわのこを思ひし出て、ひさしぶりに見舞つてやらうといふ氣になつた。
ボーイに、いくらか握らせたとおかげで、男子禁制のパークスの室の合鍵が手に入つた。
ドアをあけて、内部へ足を踏入れても、寢臺に横臥したまゝのおとわは、顔をあげやうともしない。
「おとわさん、わつしですよ」
彼は、パークスや、そのほかの人間でないことを、まづいつて、おとわの好意ある眼に迎へられやうとしけれど、おとわは、まだこちらを向かなかつた。

外科
X 光線科
性病科
外科
科
意隨院入

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

かまぼこ製造
お惣菜用
さつま揚
吉原揚
平町一丁目
不保實
電話一四一番

是非!
御融通には御用命下さい
萬事便利な御相談に應じます
三井質店
平四・電六〇六番

夜間
腸胃性病性
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
門
院醫性病胃腸村松
(番七〇一町南町平)

磐城共濟病院 (福島縣平町) (電話六四一番)
院長 石山謙一郎 (電話六四一番)
小兒科 部長 佐藤尚輔
婦人科 部長 黒澤廣
産科 部長 大黒澤藏
耳鼻咽喉科 部長 前田久
皮膚泌尿器病科 部長 石山謙
花柳病科 部長 石山謙
X 治療局 技師 石山謙
藥劑局長 鈴木本寶
事務局長 鈴木本寶
◎病室完備 入院隨意